

---

彦根市  
介護予防・日常生活圏域二一ズ調査  
報告書

---

令和8年4月



## 目次

介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 .....	1
1 調査の概要.....	1
(1) 調査の目的 .....	1
(2) 調査期間と調査方法 .....	1
(3) 調査対象及び帳票の配布数と回収数 .....	1
(4) 調査結果の表示方法 .....	1
2 調査の結果.....	2
(1) あなたの家族や生活状況について .....	2
(2) からだを動かすことについて .....	15
(3) 食べることについて .....	26
(4) 毎日の生活について .....	33
(5) 地域での活動について .....	47
(6) 就労について .....	61
(7) 支え合いについて .....	66
(8) 健康について .....	75
(9) 認知症について .....	88
(10) これからの生き方や市の取組への希望について .....	104
(11) 地域について .....	122
(12) ご自身のことについて .....	126



# 介護予防・日常生活圏域二一ズ調査

## 1 調査の概要

### (1) 調査の目的

高齢者の方々が健康で安心して暮らすことができるまちづくりの一層の推進に向け、今後の高齢者保健福祉施策を推進していくための基礎資料とすることを目的としている。

### (2) 調査期間と調査方法

調査期間：令和7年12月17日から令和8年1月9日まで

調査方法：郵送による配布・回収

### (3) 調査対象及び帳票の配布数と回収数

配布数	回収数	有効回答数	有効回収率
4,000 件	2,845 件 (前回：2,839 件)	2,742 件 (前回：2,792 件)	68.6% (前回：70.0%)

### (4) 調査結果の表示方法

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

- ①「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
- ②単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
- ③複数回答の場合、図中にMA (Multiple Answer=いくつでも)、3LA (3 Limited Answer=3つまで)と記載している。また、不明(無回答)はグラフ・表から除いている場合がある。
- ④各種リスクの非該当には判定不能も含む。
- ⑤母数が50以下の場合、分析から除外する場合がある。
- ⑥表内において、**上位1位**、**上位2位**には色付けをしている。また、全体と比べて10.0ポイント以上高い場合には△、10.0ポイント以上低い場合には▼の記号を付けている。
- ⑦図表中では、第9期彦根市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画策定時に行った調査を「前回調査」、本調査を「今回調査」としている。

## 2 調査の結果

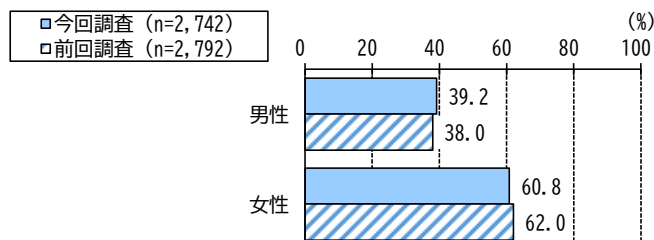
### (1) あなたの家族や生活状況について

#### 性別

##### 【全体】

○ 性別について、「男性」が39.2%、「女性」が60.8%となっています。

##### 【性別】

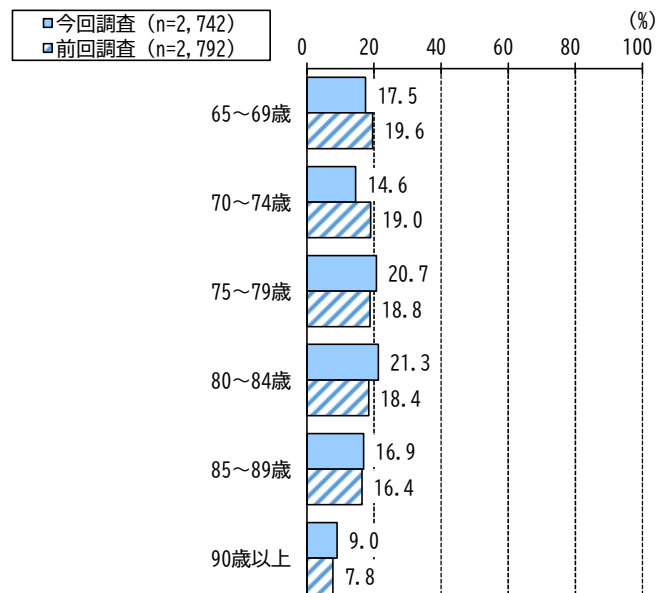


#### 年齢

##### 【全体】

○ 年齢について、「80～84歳」が21.3%で最も多く、次いで「75～79歳」が20.7%、「65～69歳」が17.5%となっています。

##### 【年齢】

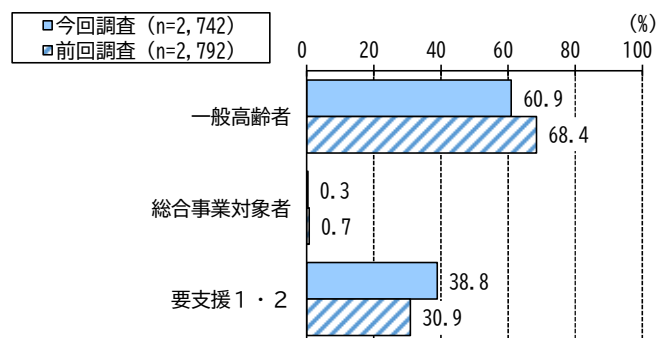


#### 認定該当状況

##### 【全体】

○ 認定該当状況について、「一般高齢者」が60.9%で最も多く、次いで「要支援1・2」が38.8%、「事業対象者」が0.3%となっています。

##### 【認定該当状況】

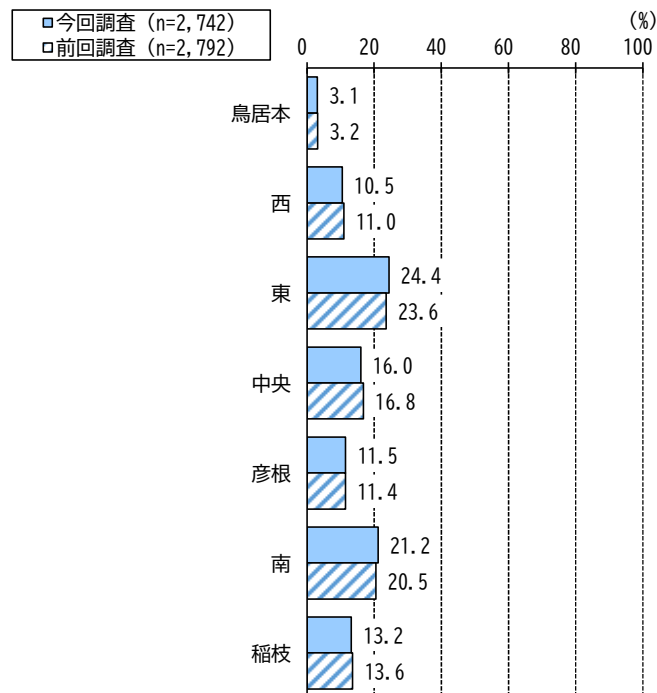


## 圏域

### 【全体】

- 圏域について、「東」が24.4%で最も多く、次いで「南」が21.2%、「中央」が16.0%となっています。

### 【圏域】

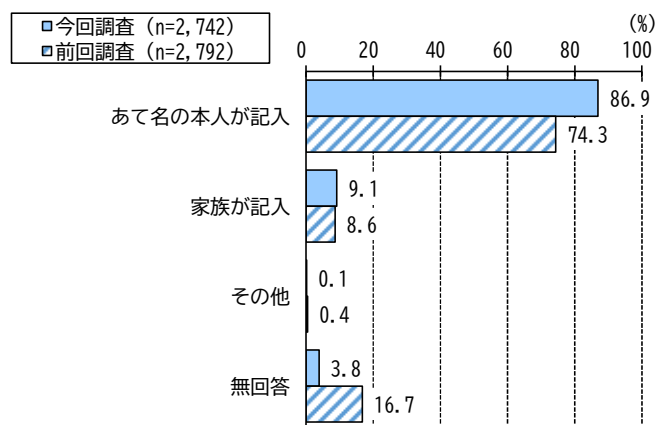


調査票を記入されたのはどなたですか。(1つだけ○)

### 【全体】

- 回答者について、「あて名の本人が記入」が86.9%で最も多く、次いで「家族が記入」が9.1%、「その他」が0.1%となっています。
- 前回調査から、「あて名の本人が記入」が12.6ポイント増加しています。

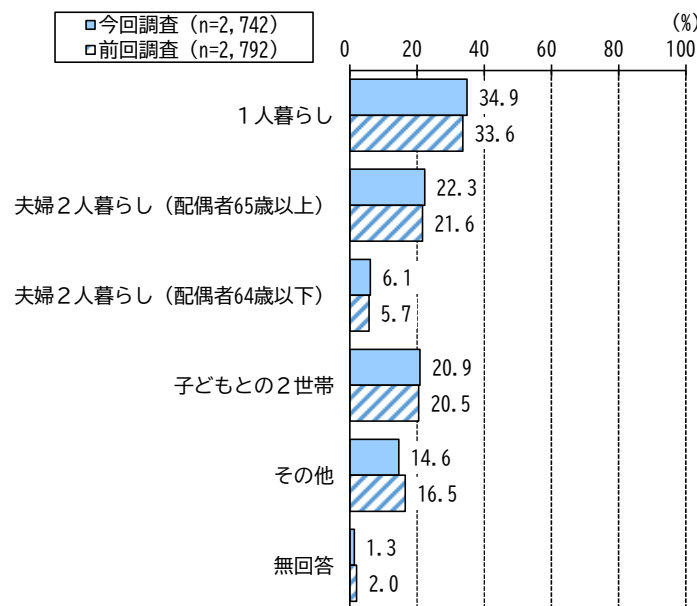
### 【回答者】



問1.1 家族構成を教えてください。(1つだけ○)

- 【全体】**
- 家族構成について、「1人暮らし」が34.9%で最も多く、次いで「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」が22.3%、「子どもとの2世帯」が20.9%となっています。
  - 「1人暮らし」「夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）」「夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）」を合わせた“高齢者のみ世帯”は63.3%となっています。
- 【性・年齢】**
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「1人暮らし」が多くなっています。
- 【日常生活圏域】**
- 「1人暮らし」は西が41.5%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【認定該当状況】**
- 「1人暮らし」は一般高齢者が35.2%、要支援1・2が34.4%となっています。
- 【介護・介助の必要性】**
- 介護・介助が必要な人ほど「子どもとの2世帯」が多くなる傾向がみられます。

【家族構成】



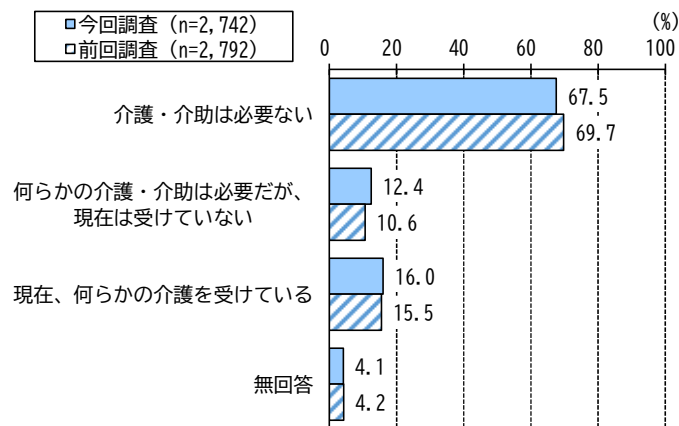
単位：%

		母数	家族構成					無回答
			1人暮らし	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	子どもとの2世帯	その他	
全体	今回調査	2,742	34.9	22.3	6.1	20.9	14.6	1.3
	前回調査	2,792	33.6	21.6	5.7	20.5	16.5	2.0
性・年齢	男性 前期高齢者	504	26.0	18.7	△ 25.8	15.9	13.5	0.2
	後期高齢者	572	27.1	△ 37.9	2.8	19.6	11.7	0.9
	女性 前期高齢者	378	35.2	24.1	1.9	18.8	19.6	0.5
	後期高齢者	1,288	41.8	16.2	1.0	24.1	14.8	2.2
日常生活圏域	鳥居本	86	37.2	19.8	4.7	17.4	20.9	-
	西	289	41.5	25.3	3.8	14.9	14.2	0.3
	東	669	37.4	18.8	7.3	19.3	15.8	1.3
	中央	438	36.8	26.3	4.8	18.7	12.1	1.4
	彦根	316	32.3	26.3	4.7	22.5	13.6	0.6
	南	582	31.6	20.6	7.4	24.7	13.4	2.2
	稲枝	362	29.8	21.3	6.4	24.6	16.6	1.4
認定該当状況	一般高齢者	1,671	35.2	19.0	8.8	20.7	15.3	1.0
	総合事業対象者	8	25.0	25.0	-	12.5	△ 37.5	-
	要支援1・2	1,063	34.4	27.5	1.8	21.3	13.3	1.8
介護・介助の必要性	介護・介助は必要ない	1,852	35.4	21.6	7.9	20.1	14.6	0.3
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	339	36.6	26.8	2.1	20.9	12.1	1.5
	現在、何らかの介護を受けている	439	31.9	23.5	2.5	25.3	15.0	1.8

問1.2 あなたは、普段の生活で誰かの介護・介助が必要ですか。(1つだけ○)

- 【全体】
- 介護・介助の必要性について、「介護・介助は必要ない」が67.5%で最も多く、次いで「現在、何らかの介護を受けている」が16.0%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が12.4%となっています。
  - 「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」「現在、何らかの介護を受けている」をあわせた“介護・介助が必要な人”は28.4%となっています。
- 【性・年齢】
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「現在、何らかの介護を受けている」が多くなっています。
- 【認定該当状況】
- 「介護・介助は必要ない」は一般高齢者が88.8%と多くなっています。
  - 「現在、何らかの介護を受けている」は要支援1・2が37.5%と多くなっています。
- 【世帯類型】
- 「介護・介助は必要ない」は夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）が88.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【介護・介助の必要性】



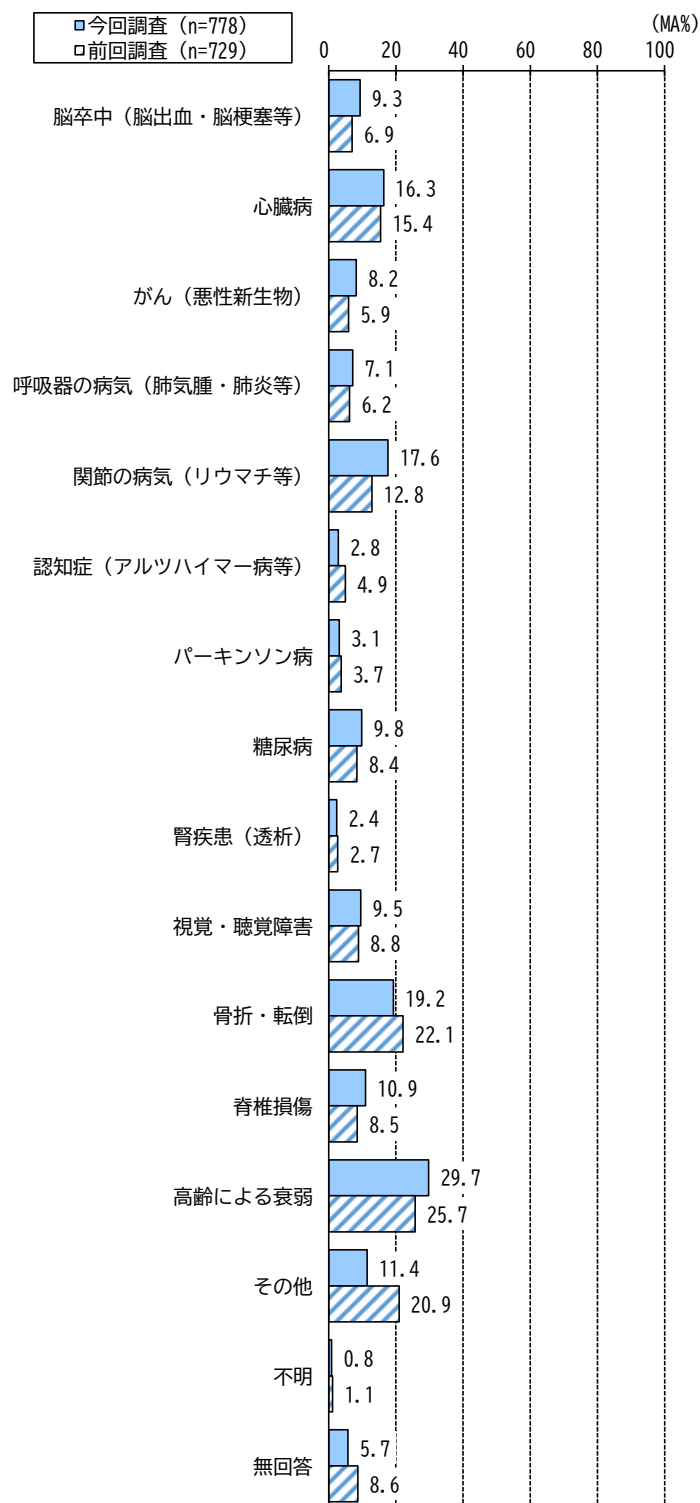
単位：%

		介護・介助の必要性				
		介護・介助は必要ない	現在何らかの介護を受けていないが、必要だが、	現在、何らかの介護を受けている	無回答	
全体	今回調査	2,742	67.5	12.4	16.0	4.1
	前回調査	2,792	69.7	10.6	15.5	4.2
性・年齢	男性 前期高齢者	504	△ 90.9	3.6	▼ 4.0	1.6
	後期高齢者	572	61.2	18.5	17.7	2.6
	女性 前期高齢者	378	△ 84.9	4.2	6.3	4.5
	後期高齢者	1,288	▼ 56.1	15.5	22.8	5.6
認定該当状況	一般高齢者	1,671	△ 88.8	5.4	▼ 2.4	3.4
	総合事業対象者	8	62.5	△ 25.0	-	12.5
	要支援1・2	1,063	▼ 34.1	△ 23.2	△ 37.5	5.1
世帯類型	1人暮らし	957	68.5	13.0	14.6	3.9
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	611	65.5	14.9	16.9	2.8
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	166	△ 88.0	4.2	6.6	1.2
	子どもとの2世帯	573	65.1	12.4	19.4	3.1
	その他	399	67.9	10.3	16.5	5.3

問1.2-1 問1.2で、「2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」または「3. 現在、何らかの介護を受けている」と答えた人のみお答えください。  
介護・介助が必要になった主な原因は何ですか。(いくつでも○)

- 【全体】
- 介護が必要となった主な原因について、「高齢による衰弱」が29.7%で最も多く、次いで「骨折・転倒」が19.2%、「関節の病気（リウマチ等）」が17.6%となっています。
- 【性・年齢】
- 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「骨折・転倒」が多くなっています。
- 【認定該当状況】
- 「骨折・転倒」は要支援1・2が20.6%と多くなっています。

【介護・介助が必要となった主な原因】



単位：%

		母数	介護・介助が必要となった主な原因							糖尿病
			(脳卒中 ・ 脳梗塞等)	心臓病	(がん (悪性新生物))	(呼吸器の病 気 (肺炎等))	(関節の病 気 (リウマチ等))	(認知症 (アルツハイマー病等))	パーキンソン病	
全体	今回調査	778	9.3	16.3	8.2	7.1	17.6	2.8	3.1	9.8
	前回調査	729	6.9	15.4	5.9	6.2	12.8	4.9	3.7	8.4
性・年齢	男性 前期高齢者	38	△ 26.3	13.2	7.9	2.6	18.4	2.6	7.9	15.8
	後期高齢者	207	13.5	25.1	11.6	13.0	9.7	2.4	2.9	13.0
	女性 前期高齢者	40	7.5	10.0	10.0	7.5	25.0	-	10.0	7.5
	後期高齢者	493	6.3	13.4	6.7	4.9	20.3	3.2	2.2	8.1
認定該当状況	一般高齢者	130	10.0	18.5	8.5	9.2	19.2	5.4	3.8	5.4
	総合事業対象者	2	-	△ 50.0	-	-	-	-	-	-
	要支援1・2	646	9.1	15.8	8.2	6.7	17.3	2.3	2.9	10.7

単位：%

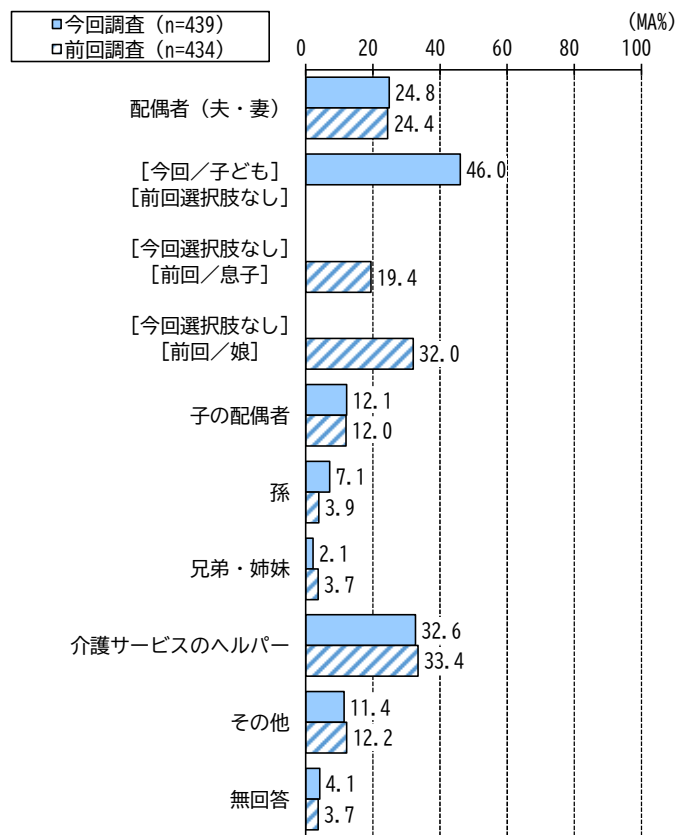
		母数	介護・介助が必要となった主な原因						不明	無回答
			(腎疾患 (透析))	視覚・聴覚障害	骨折・転倒	脊椎損傷	高齢による衰弱	その他		
全体	今回調査	778	2.4	9.5	19.2	10.9	29.7	11.4	0.8	5.7
	前回調査	729	2.7	8.8	22.1	8.5	25.7	20.9	1.1	8.6
性・年齢	男性 前期高齢者	38	10.5	10.5	▼ 7.9	2.6	▼ 5.3	15.8	-	2.6
	後期高齢者	207	3.4	11.6	15.0	15.9	35.3	11.1	-	4.8
	女性 前期高齢者	40	5.0	2.5	17.5	10.0	▼ 10.0	12.5	-	5.0
	後期高齢者	493	1.2	9.1	21.9	9.5	30.8	11.2	1.2	6.3
認定該当状況	一般高齢者	130	2.3	11.5	12.3	10.0	21.5	11.5	-	6.9
	総合事業対象者	2	-	-	-	-	-	-	-	50.0
	要支援1・2	646	2.5	9.1	20.6	11.1	31.4	11.5	0.9	5.3

問1.2-2 問1.2で、「3. 現在、何らかの介護を受けている」と答えた人のみお答えください。

主にどなたの介護・介助を受けていますか。(いくつでも○)

- 【全体】
- 主な介護・介助者について、「子ども」が46.0%で最も多く、次いで「介護サービスのヘルパー」が32.6%、「配偶者(夫・妻)」が24.8%となっています。
- 【性・年齢】
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「子ども」が多くなっています。
- 【認定該当状況】
- 要支援1・2は「子ども」が45.4%で最も多く、「介護サービスのヘルパー」が35.1%、「配偶者(夫・妻)」が24.8%となっています。
- 【世帯類型】
- 「介護サービスのヘルパー」は1人暮らしが46.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【主な介護・介助者】



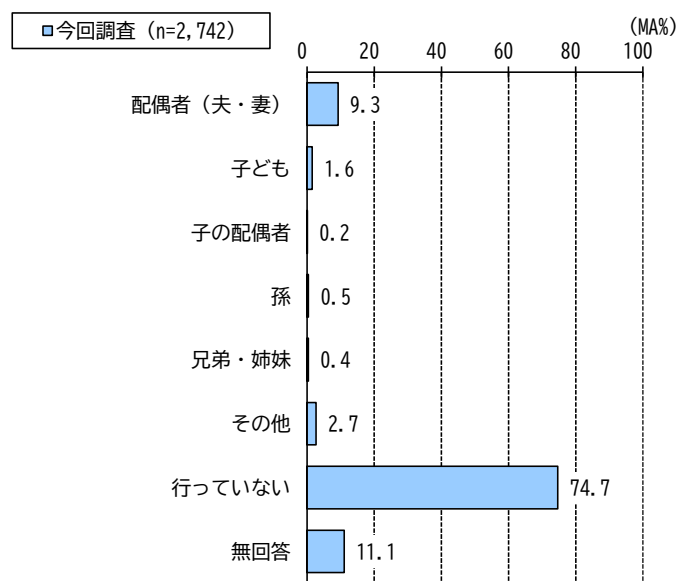
単位：%

		母数	主な介護・介助者									
			配偶者(夫・妻)	「[今回/子ども] [前回選択肢なし]」	「[今回選択肢なし] [前回/息子]」	「[今回選択肢なし] [前回/娘]」	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	介護サービスのヘルパー	その他	無回答
全体	今回調査	439	24.8	46.0	-	-	12.1	7.1	2.1	32.6	11.4	4.1
	前回調査	434	24.4	-	19.4	32.0	12.0	3.9	3.7	33.4	12.2	3.7
性・年齢	男性 前期高齢者	20	△ 50.0	▼ 10.0	-	-	-	-	10.0	30.0	5.0	5.0
	後期高齢者	101	△ 40.6	▼ 41.6	-	-	12.9	5.0	2.0	36.6	7.9	5.0
	女性 前期高齢者	24	33.3	45.8	-	-	-	4.2	4.2	25.0	-	12.5
	後期高齢者	294	17.0	50.0	-	-	13.6	8.5	1.4	32.0	13.9	3.1
認定該当状況	一般高齢者	40	25.0	52.5	-	-	10.0	7.5	5.0	▼ 7.5	7.5	7.5
	総合事業対象者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	要支援1・2	399	24.8	45.4	-	-	12.3	7.0	1.8	35.1	11.8	3.8
世帯類型	1人暮らし	140	▼ 1.4	41.4	-	-	10.0	5.7	2.9	△ 46.4	17.9	3.6
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	103	△ 67.0	▼ 35.9	-	-	6.8	4.9	1.9	28.2	3.9	4.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	11	△ 81.8	▼ 27.3	-	-	-	-	-	27.3	-	-
	子どもとの2世帯	111	▼ 14.4	△ 63.1	-	-	△ 22.5	11.7	0.9	▼ 22.5	8.1	2.7
	その他	66	16.7	47.0	-	-	7.6	7.6	3.0	28.8	15.2	7.6

問1.3 あなた自身が誰かの介護・介助を行っていますか。(いくつでも○)

- 【全体】  
 ○ 介護・介助の実施状況について、「行っていない」が74.7%で最も多く、次いで「配偶者（夫・妻）」が9.3%、「その他」が2.7%となっています。
- 【性・年齢】  
 ○ 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「行っていない」が多くなっています。
- 【認定該当状況】  
 ○ 「行っていない」は一般高齢者が77.8%と多くなっています。
- 【世帯類型】  
 ○ 「配偶者（夫・妻）」は夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）が28.2%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【介護・介助の必要性】  
 ○ 「行っていない」は何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていないが62.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

【介護・介助の実施状況】



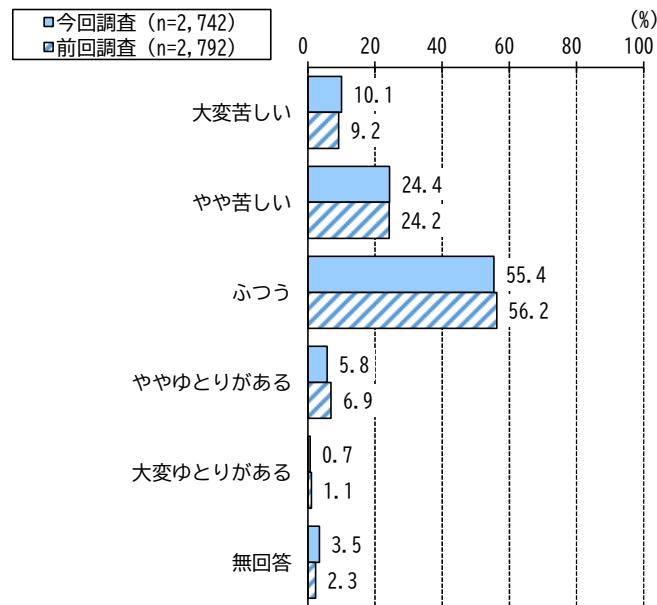
単位：%

		母数	介護・介助の実施状況							
			配偶者（夫・妻）	子ども	子の配偶者	孫	兄弟・姉妹	その他	行っていない	無回答
全体	今回調査	2,742	9.3	1.6	0.2	0.5	0.4	2.7	74.7	11.1
性・年齢	男性 前期高齢者	504	2.8	0.4	-	0.4	0.4	6.0	△ 84.7	5.4
	後期高齢者	572	15.4	2.3	0.5	0.2	0.5	0.7	70.6	10.8
	女性 前期高齢者	378	7.1	1.6	-	-	-	6.1	77.2	7.9
	後期高齢者	1,288	9.8	1.9	0.2	0.9	0.5	1.2	71.7	14.4
認定該当状況	一般高齢者	1,671	7.5	1.1	0.1	0.5	0.5	3.8	77.8	8.9
	総合事業対象者	8	-	-	-	-	-	-	▼ 62.5	37.5
	要支援1・2	1,063	12.1	2.4	0.3	0.7	0.2	0.8	69.8	14.4
世帯類型	1人暮らし	957	0.6	0.7	0.1	0.3	0.8	1.5	82.2	14.0
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	611	△ 28.2	0.7	0.2	0.7	0.2	1.6	▼ 60.1	9.3
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	166	4.8	0.6	0.6	-	-	2.4	△ 88.0	4.2
	子どもとの2世帯	573	8.4	3.0	0.3	0.7	0.2	1.7	76.4	9.9
	その他	399	4.8	3.5	-	1.0	0.3	8.5	73.7	8.5
介護・介助の必要性	介護・介助は必要ない	1,852	7.6	1.0	0.1	0.4	0.4	3.1	78.8	8.9
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	339	14.5	4.1	-	1.2	0.3	1.8	▼ 62.5	16.8
	現在、何らかの介護を受けている	439	13.7	2.7	0.5	0.7	0.2	1.1	72.0	9.8

問1.4 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(1つだけ○)

- 【全体】
- 経済状況について、「ふつう」が55.4%で最も多く、次いで「やや苦しい」が24.4%、「大変苦しい」が10.1%となっています。
  - 「大変苦しい」「やや苦しい」をあわせた“苦しい人”は34.5%となっており、「ややゆとりがある」「ゆとりがある」をあわせた“ゆとりがある人”は6.5%となっています。
- 【性・年齢】
- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて“苦しい人”が多くなっています。
- 【世帯類型】
- “苦しい人”は夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）が43.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【経済状況】



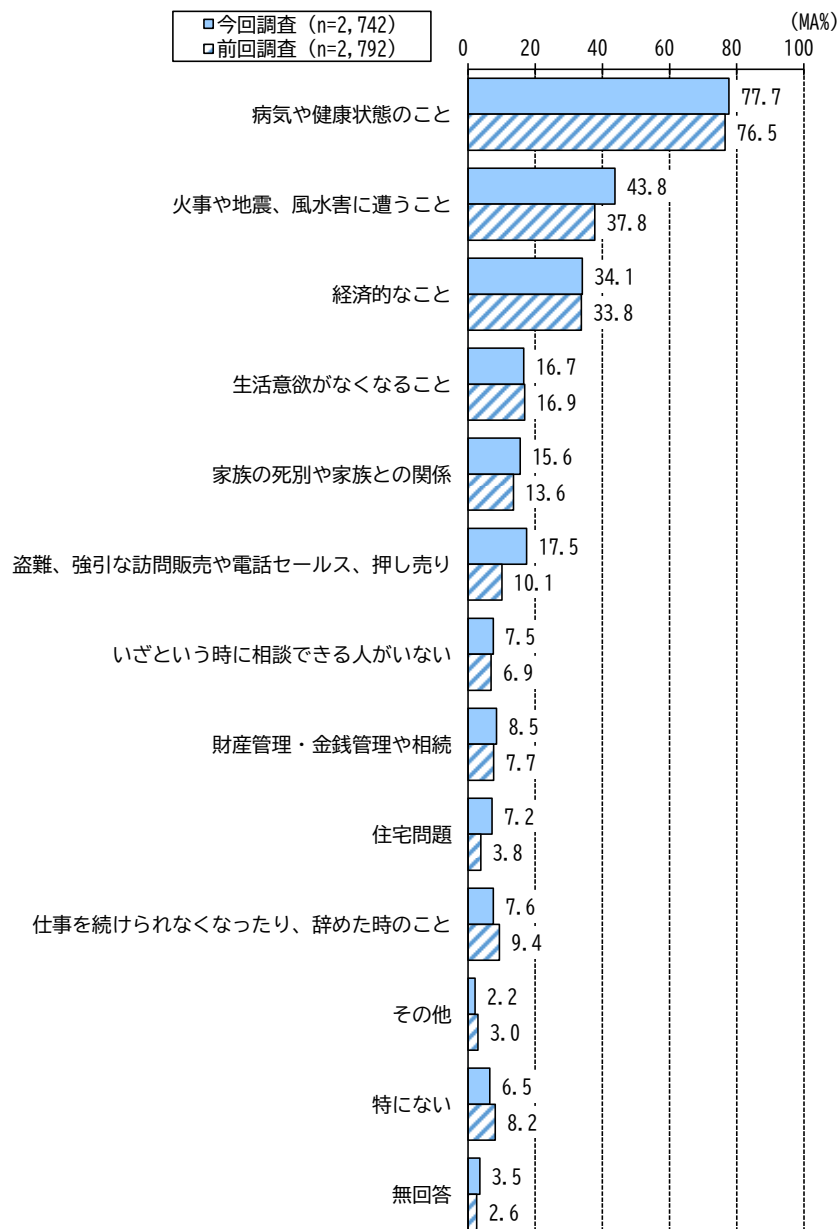
単位：%

		母数	経済状況					
			大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
全体	今回調査	2,742	10.1	24.4	55.4	5.8	0.7	3.5
	前回調査	2,792	9.2	24.2	56.2	6.9	1.1	2.3
性・年齢	男性 前期高齢者	504	11.1	30.4	48.0	6.3	0.4	3.8
	後期高齢者	572	11.2	23.8	53.8	5.8	1.2	4.2
	女性 前期高齢者	378	13.2	27.0	50.8	5.6	0.8	2.6
	後期高齢者	1,288	8.4	21.6	60.4	5.7	0.6	3.3
世帯類型	1人暮らし	957	11.3	24.8	52.5	6.7	1.0	3.8
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	611	9.2	24.1	57.1	5.4	0.7	3.6
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	166	11.4	32.5	47.6	5.4	0.6	2.4
	子どもとの2世帯	573	8.2	21.5	61.8	4.5	0.5	3.5
	その他	399	10.8	25.6	54.6	6.3	0.5	2.3

問1.5 日頃生活する中で不安に思っていることは何ですか。(いくつでも○)

- 【全体】**
- 日常生活での不安について、「病気や健康状態のこと」が77.7%で最も多く、次いで「火事や地震、風水害に遭うこと」が43.8%、「経済的なこと」が34.1%となっています。
  - 前回調査から、「火事や地震、風水害に遭うこと」が6.0ポイント、「盗難、強引な訪問販売や電話セールス、押し売り」が7.4ポイント増加しています。
- 【性・年齢】**
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「生活意欲がなくなること」が多くなっています。
  - 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「仕事を続けられなくなったり、辞めた時のこと」が多くなっています。
- 【認定該当状況】**
- 「病気や健康状態のこと」は一般高齢者が74.1%と少なくなっています。
  - 「盗難、強引な訪問販売や電話セールス、押し売り」は要支援1・2が21.1%と多くなっています。
- 【世帯類型】**
- 「病気や健康状態のこと」は夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）が86.6%と他の区分に比べて多くなっています。
  - 「経済的なこと」は夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）が44.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【日常生活での不安】



単位：%

		母数	日常生活での不安						
			病気や健康状態のこと	火事や地震、風水害に遭うこと	経済的なこと	生活意欲がなくなること	家族の死別や家族との関係	盗難、強引な訪問販売や電話セールス、押し売り	いざという時に相談できる人がいない
全体	今回調査	2,742	77.7	43.8	34.1	16.7	15.6	17.5	7.5
	前回調査	2,792	76.5	37.8	33.8	16.9	13.6	10.1	6.9
性・年齢	男性 前期高齢者	504	76.6	34.7	△ 45.4	9.9	15.3	12.1	10.5
	後期高齢者	572	83.9	41.1	32.5	17.7	17.1	16.1	9.1
	女性 前期高齢者	378	74.3	44.4	△ 44.4	9.5	17.2	15.9	7.7
	後期高齢者	1,288	76.3	48.4	27.3	21.1	14.5	20.7	5.5
認定該当状況	一般高齢者	1,671	74.1	41.5	36.1	13.3	13.6	15.2	7.7
	総合事業対象者	8	87.5	50.0	25.0	25.0	25.0	12.5	-
	要支援1・2	1,063	83.3	47.3	31.0	22.1	18.5	21.1	7.2
世帯類型	1人暮らし	957	75.4	47.8	32.6	19.5	9.3	21.4	9.4
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	611	86.6	48.0	34.4	17.3	24.5	19.3	7.2
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	166	77.7	34.3	△ 44.6	▼ 6.6	16.3	11.4	9.0
	子どもとの2世帯	573	77.3	36.8	33.0	17.8	14.0	12.0	4.2
	その他	399	72.2	43.4	34.8	11.8	19.8	16.0	7.0

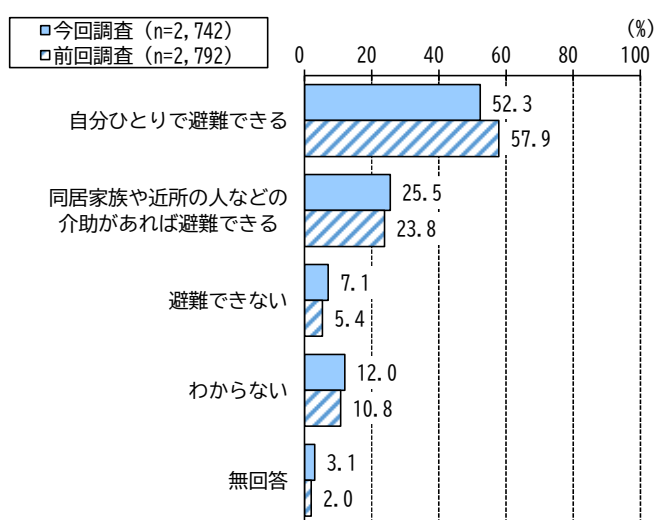
単位：%

		母数	日常生活での不安					特 に な い	無 回 答
			財産管理・金銭管理や相続	住宅問題	仕事を続けれなくなったこと、辞めた時のこと	その他			
全体	今回調査	2,742	8.5	7.2	7.6	2.2	6.5	3.5	
	前回調査	2,792	7.7	3.8	9.4	3.0	8.2	2.6	
性・年齢	男性 前期高齢者	504	11.3	11.5	△ 18.1	2.2	7.1	3.4	
	後期高齢者	572	9.4	5.8	4.9	1.2	5.6	3.7	
	女性 前期高齢者	378	9.5	8.7	16.4	1.1	8.5	2.6	
	後期高齢者	1,288	6.7	5.7	2.1	3.0	6.1	3.6	
認定該当状況	一般高齢者	1,671	8.7	8.3	11.6	2.0	8.8	3.6	
	総合事業対象者	8	-	-	-	-	-	12.5	
	要支援1・2	1,063	8.3	5.6	1.3	2.6	2.9	3.2	
世帯類型	1人暮らし	957	7.8	10.6	7.8	2.6	5.4	4.1	
	夫婦2人暮らし（配偶者65歳以上）	611	12.1	5.2	5.9	1.6	3.3	3.1	
	夫婦2人暮らし（配偶者64歳以下）	166	11.4	8.4	14.5	-	8.4	3.0	
	子どもとの2世帯	573	5.8	4.2	7.0	2.4	8.7	3.0	
	その他	399	8.0	6.5	8.0	2.8	9.3	1.8	

問1.6 災害が発生した時、避難できますか。(1つだけ○)

- 【全体】**
- 災害時の避難可否について、「自分ひとりで避難できる」が52.3%で最も多く、次いで「同居家族や近所の人などの介助があれば避難できる」が25.5%、「わからない」が12.0%となっています。
  - 前回調査から、「自分ひとりで避難できる」が5.6ポイント減少しています。
- 【性・年齢】**
- 「自分ひとりで避難できる」は女性 後期高齢者が34.5%と他の区分に比べて少なくなっています。
  - 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「避難できない」が多くなっています。
- 【認定該当状況】**
- 「自分ひとりで避難できる」は一般高齢者が72.4%と多くなっています。
- 【介護・介助の必要性】**
- 介護・介助が必要な人ほど「避難できない」が多くなる傾向がみられます。

【災害時の避難可否】



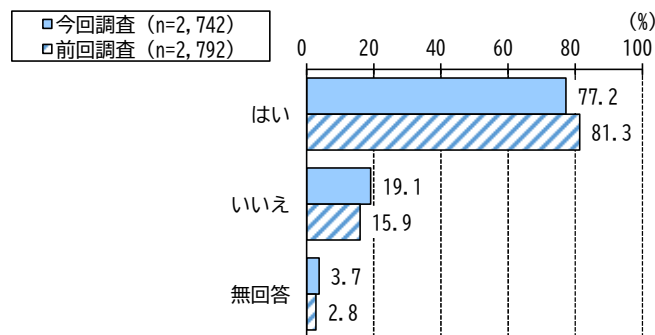
単位：%

		母数	災害時の避難可否				
			自分ひとりで避難できる	同居家族や近所の人などの介助があれば避難できる	避難できない	わからない	無回答
全体	今回調査	2,742	52.3	25.5	7.1	12.0	3.1
	前回調査	2,792	57.9	23.8	5.4	10.8	2.0
性・年齢	男性 前期高齢者	504	△ 82.5	▼ 5.0	2.0	6.9	3.6
	後期高齢者	572	52.4	27.6	6.3	10.8	2.8
	女性 前期高齢者	378	△ 72.5	▼ 11.4	1.3	11.4	3.4
	後期高齢者	1,288	▼ 34.5	△ 36.6	11.3	14.6	3.0
認定該当状況	一般高齢者	1,671	△ 72.4	▼ 11.6	2.1	10.7	3.2
	総合事業対象者	8	▼ 25.0	△ 37.5	12.5	12.5	12.5
	要支援1・2	1,063	▼ 21.0	△ 47.1	15.1	14.0	2.8
介護・介助の必要性	介護・介助は必要ない	1,852	△ 70.0	▼ 14.0	2.6	10.3	3.1
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	339	▼ 16.2	△ 49.9	13.0	18.3	2.7
	現在、何らかの介護を受けている	439	▼ 10.9	△ 54.0	△ 22.6	11.6	0.9

問1.7 災害が発生した時の避難場所を知っていますか。(1つだけ○)

- 【全体】  
 ○ 避難場所の認知について、「はい」が77.2%、「いいえ」が19.1%となっています。
- 【日常生活圏域】  
 ○ 「いいえ」は鳥居本が9.3%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 【認定該当状況】  
 ○ 「いいえ」は一般高齢者が17.4%と少なくなっています。
- 【世帯類型】  
 ○ 「はい」は1人暮らしが70.0%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 【介護・介助の必要性】  
 ○ 「いいえ」は介護・介助は必要ないが16.4%と他の区分に比べて少なくなっています。

【避難場所の認知】



単位：%

	母数	避難場所の認知		
		はい	いいえ	無回答
全体	今回調査	77.2	19.1	3.7
	前回調査	81.3	15.9	2.8
日常生活圏域	鳥居本	84.9	9.3	5.8
	西	82.4	14.5	3.1
	東	72.5	23.0	4.5
	中央	76.0	20.8	3.2
	彦根	75.6	21.2	3.2
	南	77.5	18.7	3.8
	稲枝	82.3	14.4	3.3
認定該当状況	一般高齢者	79.2	17.4	3.5
	総合事業対象者	▼ 62.5	25.0	12.5
	要支援1・2	74.2	21.7	4.0
世帯類型	1人暮らし	70.0	25.1	4.9
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	82.5	14.7	2.8
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	82.5	14.5	3.0
	子どもとの2世帯	79.9	16.6	3.5
	その他	82.2	16.3	1.5
介護・介助の必要性	介護・介助は必要ない	80.0	16.4	3.6
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	67.3	28.6	4.1
	現在、何らかの介護を受けている	75.2	23.2	1.6

## (2) からだを動かすことについて

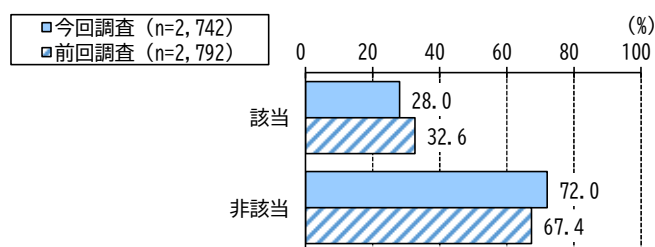
### 運動器の機能低下リスク

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、5項目のうち3項目以上に該当する人を『運動器の機能低下』のリスク該当者と判定しています。

問番号	設問	該当する選択肢
問2.1	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。	3. できない
問2.2	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。	3. できない
問2.3	15分位続けて歩いていますか。	3. できない
問2.4	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある
問2.5	転倒に対する不安は大きいですか。	1. とても不安である 2. やや不安である

- 【全体】**  
 ○ 運動器の機能低下リスクについて、「該当」が28.0%、「非該当」が72.0%となっています。
- 【性・年齢】**  
 ○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。
- 【認定該当状況】**  
 ○ 「該当」は要支援1・2が54.2%と多くなっています。
- 【介護・介助の必要性】**  
 ○ 介護・介助が必要な人ほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

### 【運動器の機能低下リスク】

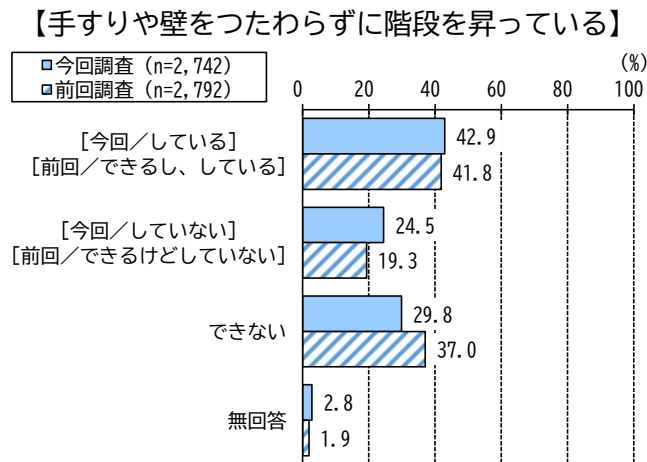


		母数	運動器の機能低下リスク	
			該当	非該当
全体	今回調査	2,742	28.0	72.0
	前回調査	2,792	32.6	67.4
性・年齢	男性 前期高齢者	504	▼ 6.7	△ 93.3
	後期高齢者	572	30.8	69.2
	女性 前期高齢者	378	▼ 12.2	△ 87.8
	後期高齢者	1,288	△ 39.7	▼ 60.3
認定該当状況	一般高齢者	1,671	▼ 11.2	△ 88.8
	総合事業対象者	8	△ 50.0	▼ 50.0
	要支援1・2	1,063	△ 54.2	▼ 45.8
介護・介助の必要性	介護・介助は必要ない	1,852	▼ 13.5	△ 86.5
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	339	△ 56.6	▼ 43.4
	現在、何らかの介護を受けている	439	△ 66.5	▼ 33.5

単位：%

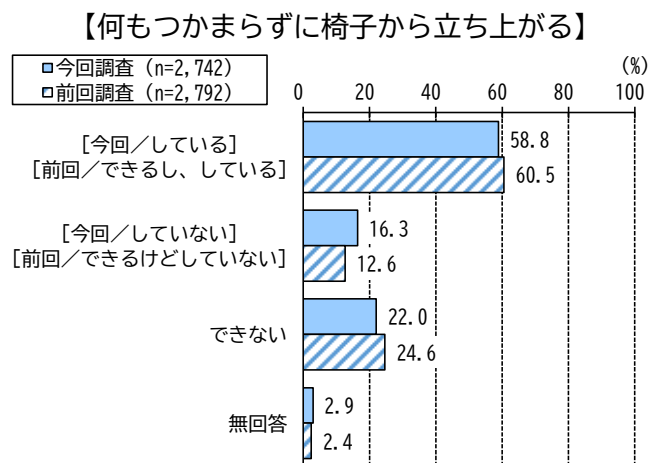
問2.1 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか。(1つだけ○)

- 【全体】**
- 階段昇降可否について、「している」が 42.9%で最も多く、次いで「できない」が 29.8%、「していない」が 24.5%となっています。
  - 前回調査から、「していない」が 5.2 ポイント増加し、「できない」が 7.2 ポイント減少しています。



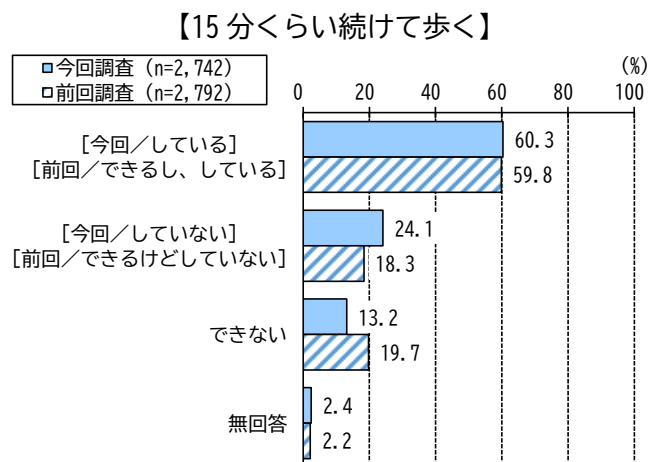
問2.2 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか。(1つだけ○)

- 【全体】**
- 立ち上がり可否について、「している」が 58.8%で最も多く、次いで「できない」が 22.0%、「していない」が 16.3%となっています。



問2.3 15分位続けて歩いていますか。(1つだけ○)

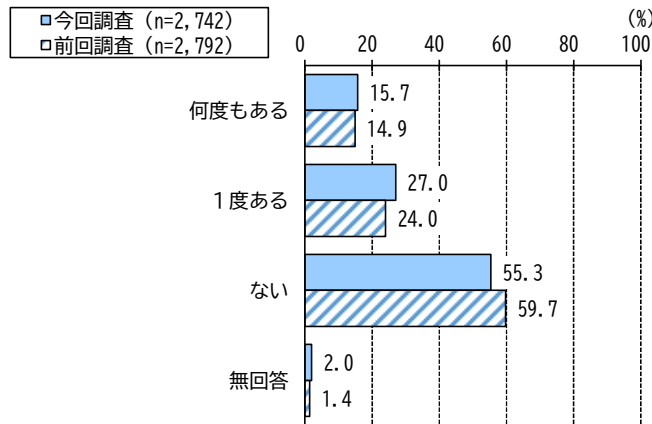
- 【全体】**
- 継続歩行可否について、「している」が 60.3%で最も多く、次いで「していない」が 24.1%、「できない」が 13.2%となっています。
  - 前回調査から、「していない」が 5.8 ポイント増加し、「できない」が 6.5 ポイント減少しています。



問2.4 過去1年間に転んだ経験がありますか。(1つだけ○)

【全体】  
 ○ 転倒経験について、「ない」が55.3%で最も多く、次いで「1度ある」が27.0%、「何度もある」が15.7%となっています。

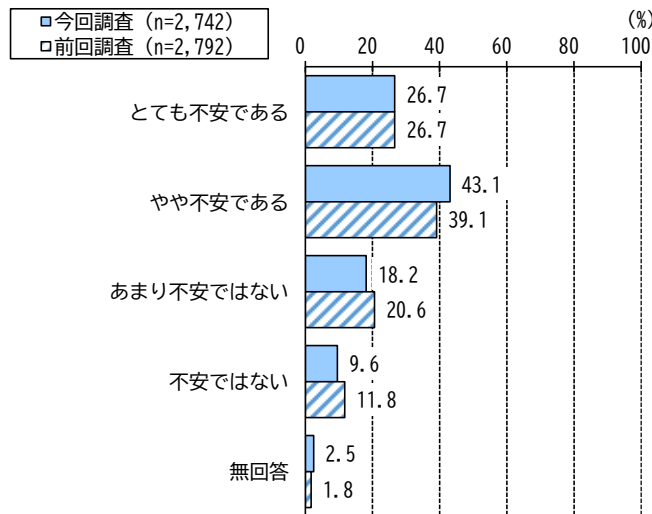
【過去1年の転倒経験】



問2.5 転倒に対する不安は大きいですか。(1つだけ○)

【全体】  
 ○ 転倒不安について、「やや不安である」が43.1%で最も多く、次いで「とても不安である」が26.7%、「あまり不安ではない」が18.2%となっています。

【転倒に対する不安】



## 転倒リスク

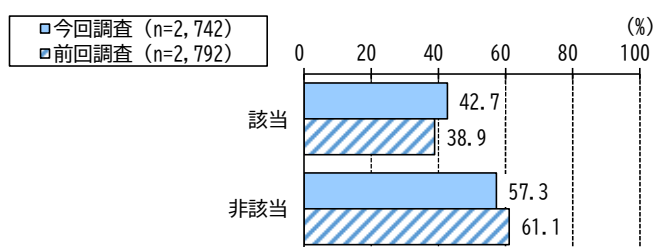
国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を『転倒』のリスク該当者と判定しました。

問番号	設問	該当する選択肢
問2.4	過去1年間に転んだ経験がありますか。	1. 何度もある 2. 1度ある

※【評価項目の回答状況】についてはP17参照

<p>【全体】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 転倒リスクについて、「該当」が42.7%、「非該当」が57.3%となっています。</li> </ul> <p>【性・年齢】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。</li> </ul> <p>【認定該当状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「該当」は要支援1・2が57.0%と多くなっています。</li> </ul> <p>【介護・介助の必要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「該当」は介護・介助は必要ないが35.0%と他の区分に比べて少なくなっています。</li> </ul>
--

### 【転倒リスク】



		母数	転倒リスク	
			該当	非該当
全体	今回調査	2,742	42.7	57.3
	前回調査	2,792	38.9	61.1
性・年齢	男性 前期高齢者	504	▼ 32.7	△ 67.3
	後期高齢者	572	49.7	50.3
	女性 前期高齢者	378	33.1	66.9
	後期高齢者	1,288	46.4	53.6
認定該当状況	一般高齢者	1,671	33.6	66.4
	総合事業対象者	8	37.5	62.5
	要支援1・2	1,063	△ 57.0	▼ 43.0
介護・介助の必要性	介護・介助は必要ない	1,852	35.0	65.0
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	339	△ 63.1	▼ 36.9
	現在、何らかの介護を受けている	439	△ 60.8	▼ 39.2

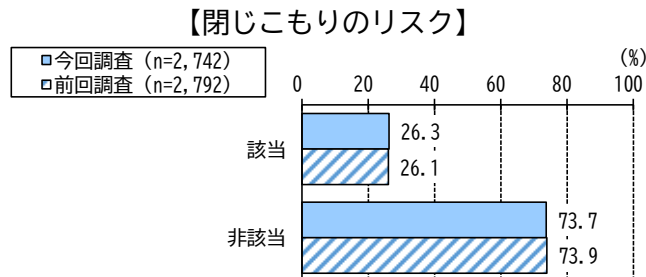
単位：%

## 閉じこもりのリスク

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を『閉じこもり』のリスク該当者と判定しました。

問番号	設問	該当する選択肢
問2.6	週に1回以上は外出していますか。	1. ほとんど外出しない 2. 週1回

- 【全体】**
- 閉じこもりのリスクについて、「該当」が26.3%、「非該当」が73.7%となっています。
- 【性・年齢】**
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。
- 【認定該当状況】**
- 「該当」は要支援1・2が41.5%と多くなっています。
- 【介護・介助の必要性】**
- 介護・介助が必要な人ほど「該当」が多くなる傾向がみられます。

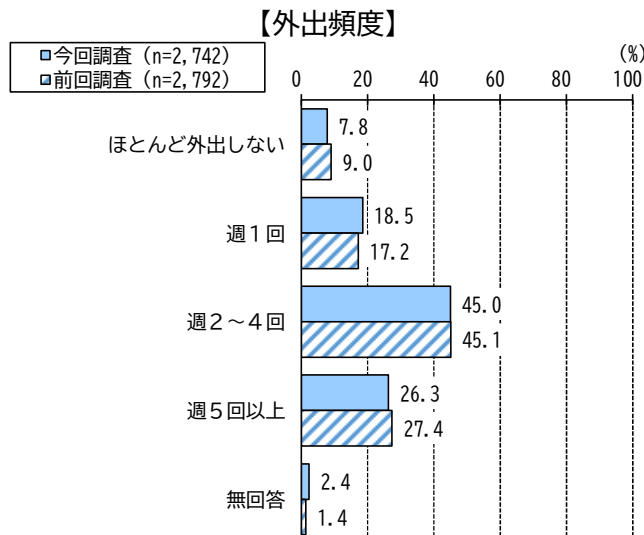


単位：%

		母数	閉じこもりのリスク	
			該当	非該当
全体	今回調査	2,742	26.3	73.7
	前回調査	2,792	26.1	73.9
性・年齢	男性 前期高齢者	504	▼ 9.5	△ 90.5
	後期高齢者	572	28.5	71.5
	女性 前期高齢者	378	▼ 14.6	△ 85.4
	後期高齢者	1,288	35.2	64.8
認定該当状況	一般高齢者	1,671	16.6	83.4
	総合事業対象者	8	25.0	75.0
	要支援1・2	1,063	△ 41.5	▼ 58.5
介護・介助の必要性	介護・介助は必要ない	1,852	17.2	82.8
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	339	△ 44.8	▼ 55.2
	現在、何らかの介護を受けている	439	△ 49.4	▼ 50.6

## 問2.6 週に1回以上は外出していますか。(1つだけ○)

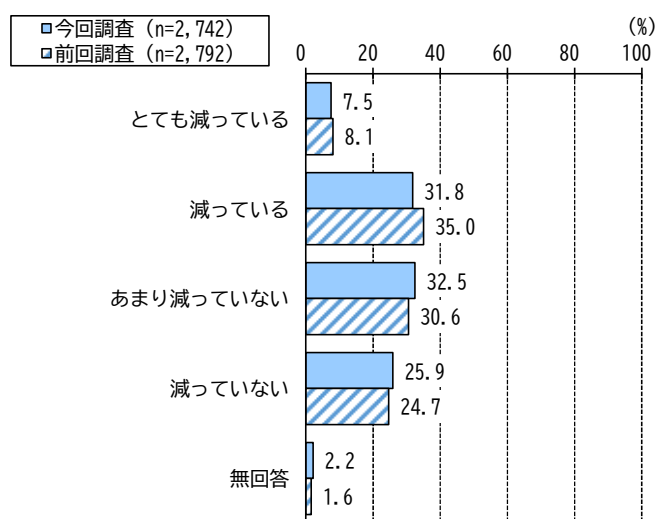
- 【全体】**
- 外出頻度について、「週2～4回」が45.0%で最も多く、次いで「週5回以上」が26.3%、「週1回」が18.5%となっています。



問2.7 昨年と比べて外出の回数が減っていますか。(1つだけ○)

- 【全体】
- 外出回数の変化について、「あまり減っていない」が32.5%で最も多く、次いで「減っている」が31.8%、「減っていない」が25.9%となっています。
  - 「とても減っている」「減っている」をあわせた“減っている人”は39.3%となっており、「あまり減っていない」「減っていない」をあわせた“減っていない人”は58.4%となっています。
- 【性・年齢】
- 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて“減っている人”が多くなっています。
  - 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「減っていない」が多くなっています。
- 【認定該当状況】
- 「減っていない」は一般高齢者が35.7%と多くなっています。
- 【介護・介助の必要性】
- 介護・介助が必要な人ほど“減っている人”が多くなる傾向がみられます。

【外出回数の変化】



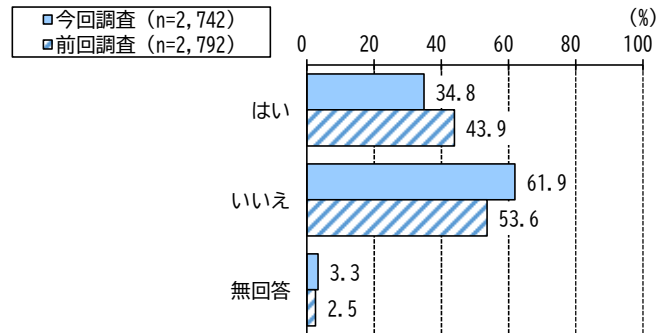
単位：％

		母数	外出回数の変化				
			とても減っている	減っている	あまり減っていない	減っていない	無回答
全体	今回調査	2,742	7.5	31.8	32.5	25.9	2.2
	前回調査	2,792	8.1	35.0	30.6	24.7	1.6
性・年齢	男性 前期高齢者	504	1.8	▼ 17.5	32.3	△ 45.6	2.8
	後期高齢者	572	8.7	37.4	28.8	22.9	2.1
	女性 前期高齢者	378	2.9	▼ 19.3	36.8	△ 38.6	2.4
	後期高齢者	1,288	10.6	38.7	33.0	▼ 15.8	1.9
認定該当状況	一般高齢者	1,671	3.5	22.4	36.2	35.7	2.3
	総合事業対象者	8	12.5	▼ 12.5	△ 62.5	▼ 12.5	-
	要支援1・2	1,063	13.9	△ 46.8	26.5	▼ 10.6	2.1
介護・介助の必要性	介護・介助は必要ない	1,852	3.3	23.7	37.5	33.4	2.1
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	339	15.3	△ 52.2	23.0	▼ 8.0	1.5
	現在、何らかの介護を受けている	439	△ 19.6	△ 49.4	▼ 19.6	▼ 10.3	1.1

問2.8 外出を控えていますか。(1つだけ○)

- 【全体】
- 外出控えの有無について、「はい」が34.8%、「いいえ」が61.9%となっています。
  - 前回調査から、「はい」は9.1ポイント減少し、「いいえ」は8.3ポイント増加しています。
- 【性・年齢】
- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「いいえ」が多くなっています。
- 【認定該当状況】
- 「はい」は要支援1・2が59.4%と多くなっています。
- 【介護・介助の必要性】
- 介護・介助が必要な人ほど「はい」が多くなる傾向がみられます。

【外出控えの有無】



単位：%

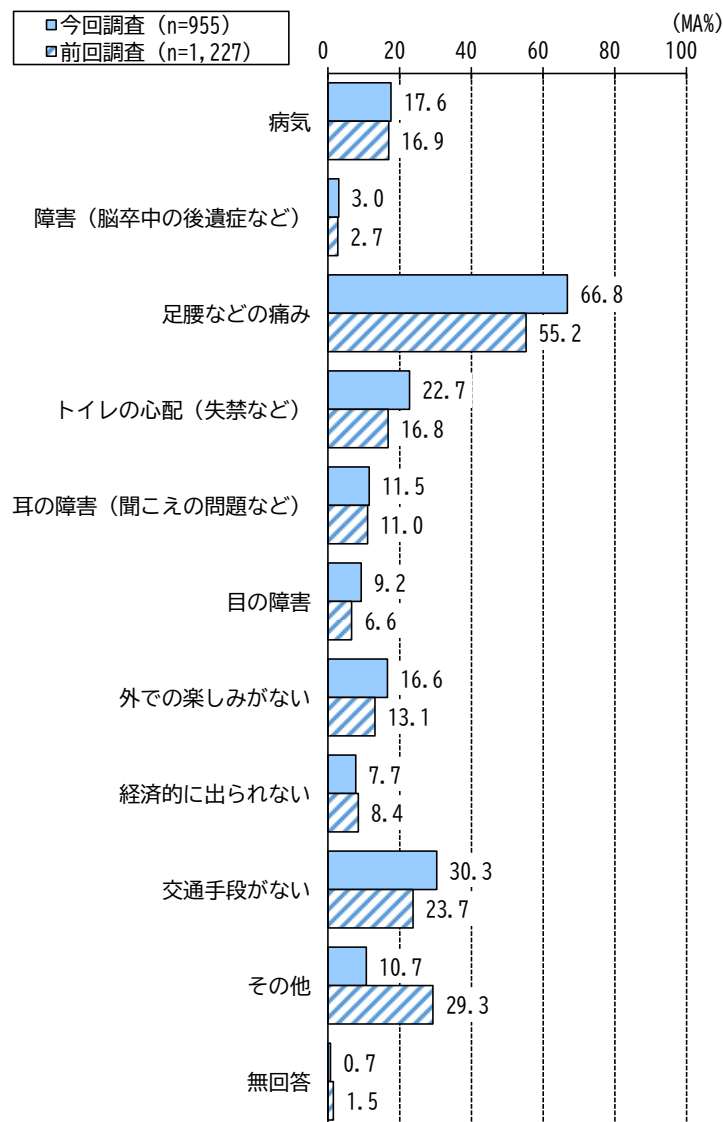
		母数	外出控えの有無		
			はい	いいえ	無回答
全体	今回調査	2,742	34.8	61.9	3.3
	前回調査	2,792	43.9	53.6	2.5
性・年齢	男性 前期高齢者	504	▼ 13.1	△ 82.9	4.0
	後期高齢者	572	41.1	55.4	3.5
	女性 前期高齢者	378	▼ 20.6	△ 76.2	3.2
	後期高齢者	1,288	44.7	52.3	3.0
認定該当状況	一般高齢者	1,671	▼ 19.3	△ 77.3	3.4
	総合事業対象者	8	25.0	△ 75.0	-
	要支援1・2	1,063	△ 59.4	▼ 37.5	3.1
介護・介助の必要性	介護・介助は必要ない	1,852	▼ 21.3	△ 75.9	2.9
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	339	△ 62.5	▼ 34.5	2.9
	現在、何らかの介護を受けている	439	△ 69.7	▼ 28.9	1.4

問2.8-1 問2.8で、「1. はい」と答えた人のみお答えください。

外出を控えている理由は、次のどれですか。(いくつでも○)

- 【全体】**
- 外出控えの理由について、「足腰などの痛み」が66.8%で最も多く、次いで「交通手段がない」が30.3%、「トイレの心配（失禁など）」が22.7%となっています。
  - 前回調査から、「足腰などの痛み」が11.6ポイント、「トイレの心配（失禁など）」が5.9ポイント、「交通手段がない」が6.6ポイント増加しています。
- 【性・年齢】**
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「外での楽しみがない」が多く、特に前期高齢者は30.3%となっています。
  - 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「交通手段がない」が多くなっています。
- 【認定該当状況】**
- 「交通手段がない」は要支援1・2が37.1%と多くなっています。
- 【介護・介助の必要性】**
- 介護・介助が必要な人ほど「外での楽しみがない」「経済的に出られない」が少なくなる傾向がみられます。

【外出控えの理由】



単位：%

		母数	外出控えの理由					目の障害
			病 気	(障 害 脳卒中の後遺症など)	足 腰 などの 痛み	トイ レの 心配 (失 禁 など)	耳 の 障 害 (聞 こ え の 問 題 な ど)	
全体	今回調査	955	17.6	3.0	66.8	22.7	11.5	9.2
	前回調査	1,227	16.9	2.7	▼55.2	16.8	11.0	6.6
性・年齢	男性 前期高齢者	66	24.2	7.6	▼39.4	16.7	4.5	7.6
	後期高齢者	235	20.4	3.4	71.1	26.4	14.0	13.2
	女性 前期高齢者	78	20.5	3.8	▼48.7	14.1	▼1.3	6.4
	後期高齢者	576	15.3	2.3	70.7	23.1	12.7	8.2
認定該当状況	一般高齢者	322	17.7	2.2	▼56.5	18.3	10.9	7.8
	総合事業対象者	2	△50.0	-	△100.0	△50.0	-	-
	要支援1・2	631	17.4	3.5	71.9	24.9	11.9	10.0
介護・介助の必要性	介護・介助は必要ない	394	14.7	1.3	▼56.1	15.7	8.6	6.1
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	212	20.8	2.4	△77.4	27.8	17.9	13.2
	現在、何らかの介護を受けている	306	20.3	6.2	73.5	27.8	10.5	10.8

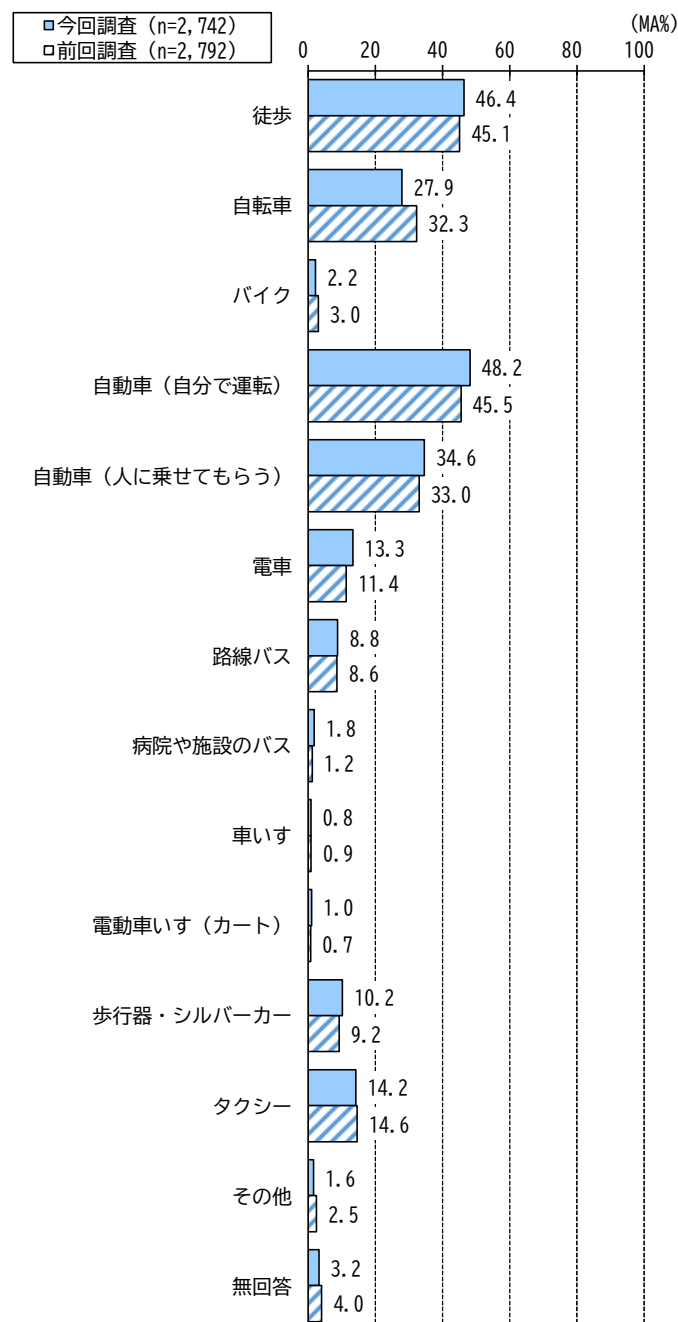
単位：%

		母数	外出控えの理由				
			外 で の 楽 し み が な い	経 済 的 に 出 ら れ な い	交 通 手 段 が な い	そ の 他	無 回 答
全体	今回調査	955	16.6	7.7	30.3	10.7	0.7
	前回調査	1,227	13.1	8.4	23.7	△29.3	1.5
性・年齢	男性 前期高齢者	66	△30.3	16.7	▼15.2	10.6	-
	後期高齢者	235	20.4	8.5	30.6	6.8	1.7
	女性 前期高齢者	78	16.7	15.4	▼15.4	△25.6	-
	後期高齢者	576	13.5	5.4	33.9	10.2	0.5
認定該当状況	一般高齢者	322	22.4	13.4	▼17.1	14.0	0.9
	総合事業対象者	2	-	-	-	-	-
	要支援1・2	631	13.8	4.9	37.1	9.0	0.6
介護・介助の必要性	介護・介助は必要ない	394	20.3	10.9	26.9	12.4	0.8
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	212	15.6	5.7	34.9	6.6	-
	現在、何らかの介護を受けている	306	13.4	5.2	33.0	11.8	0.3

問2.9 外出する際の移動手段は何ですか。(いくつでも○)

- 【全体】
- 外出時の移動手段について、「自動車（自分で運転）」が48.2%で最も多く、次いで「徒歩」が46.4%、「自動車（人に乗せてもらう）」が34.6%となっています。
- 【性・年齢】
- 「自動車（自分で運転）」は女性 後期高齢者が25.4%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【日常生活圏域】
- 「徒歩」は鳥居本が31.4%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 【認定該当状況】
- 「自動車（人に乗せてもらう）」は一般高齢者が22.3%と少なくなっています。
- 【介護・介助の必要性】
- 介護・介助が必要な人ほど「自動車（自分で運転）」が少なく、「自動車（人に乗せてもらう）」が多くなる傾向がみられます。

【外出時の移動手段】



単位：％

		母数	外出時の移動手段						
			徒歩	自転車	バイク	自動車 (自分で運転)	自動車 (人に乗せてもらう)	電車	路線バス
全体	今回調査	2,742	46.4	27.9	2.2	48.2	34.6	13.3	8.8
	前回調査	2,792	45.1	32.3	3.0	45.5	33.0	11.4	8.6
性・年齢	男性 前期高齢者	504	54.2	34.1	5.0	△ 82.5	▼ 9.1	19.8	6.9
	後期高齢者	572	44.1	34.4	0.9	53.3	28.0	13.1	10.8
	女性 前期高齢者	378	47.9	27.8	1.6	△ 72.2	▼ 22.0	20.9	7.4
	後期高齢者	1,288	43.9	22.5	1.8	▼ 25.4	△ 51.2	8.5	9.1
日常生活圏域	鳥居本	86	▼ 31.4	▼ 11.6	1.2	50.0	37.2	12.8	3.5
	西	289	49.1	37.4	1.0	42.2	32.9	11.8	13.5
	東	669	48.6	24.8	1.5	47.4	34.5	12.9	9.1
	中央	438	50.2	30.4	2.1	43.6	33.6	12.3	18.0
	彦根	316	37.7	24.4	3.5	51.6	34.5	13.3	4.4
	南	582	46.9	26.6	2.9	51.4	35.2	13.2	5.5
	稲枝	362	45.9	31.8	2.2	51.4	35.9	16.6	3.9
認定該当状況	一般高齢者	1,671	50.9	35.7	3.1	△ 65.9	▼ 22.3	17.1	8.9
	総合事業対象者	8	▼ 25.0	-	△ 12.5	▼ 25.0	△ 62.5	△ 25.0	12.5
	要支援1・2	1,063	39.5	▼ 15.7	0.6	▼ 20.5	△ 53.8	7.1	8.7
介護・介助の必要性	介護・介助は必要ない	1,852	51.1	34.3	2.9	△ 60.6	25.0	16.7	9.1
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	339	▼ 36.0	▼ 17.4	0.9	▼ 28.0	△ 52.2	5.9	10.3
	現在、何らかの介護を受けている	439	▼ 34.9	▼ 10.9	0.5	▼ 16.6	△ 60.8	5.2	6.8

単位：％

		母数	外出時の移動手段						
			病院や施設のバス	車いす	(電動)車いす (カート)	歩行者・シルバーカー	タクシー	その他	無回答
全体	今回調査	2,742	1.8	0.8	1.0	10.2	14.2	1.6	3.2
	前回調査	2,792	1.2	0.9	0.7	9.2	14.6	2.5	4.0
性・年齢	男性 前期高齢者	504	0.6	0.8	0.4	0.6	4.6	0.4	3.6
	後期高齢者	572	1.6	1.0	2.1	4.5	13.5	2.1	3.7
	女性 前期高齢者	378	0.5	0.8	0.3	1.9	5.6	0.5	3.2
	後期高齢者	1,288	2.6	0.8	1.0	18.9	20.8	2.1	2.8
日常生活圏域	鳥居本	86	2.3	2.3	-	10.5	10.5	2.3	5.8
	西	289	1.7	0.3	1.4	11.4	16.3	1.4	3.1
	東	669	1.6	0.9	0.7	10.3	14.3	2.1	3.0
	中央	438	1.6	0.5	1.1	8.4	16.4	1.1	3.0
	彦根	316	1.6	0.9	1.9	8.9	9.2	1.3	3.5
	南	582	1.7	1.2	0.7	10.3	16.7	1.7	3.6
	稲枝	362	2.2	0.6	1.1	12.2	10.8	1.1	2.2
認定該当状況	一般高齢者	1,671	0.1	0.4	0.2	2.2	7.7	0.7	3.0
	総合事業対象者	8	△ 12.5	-	-	-	△ 25.0	-	12.5
	要支援1・2	1,063	4.2	1.6	2.3	△ 22.9	△ 24.4	2.9	3.4
介護・介助の必要性	介護・介助は必要ない	1,852	0.8	0.2	0.4	4.7	10.4	0.9	2.9
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	339	2.7	1.8	1.8	17.4	21.8	4.4	2.7
	現在、何らかの介護を受けている	439	5.2	2.7	3.2	△ 27.1	24.1	2.3	2.5

### (3) 食べることについて

#### 低栄養リスク

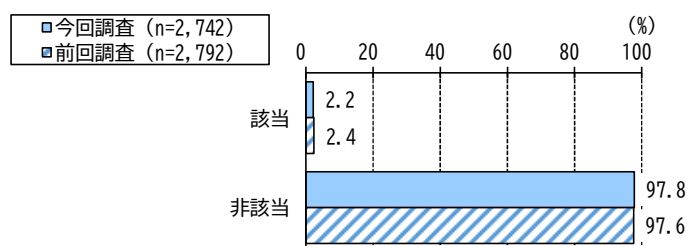
国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、2項目ともに該当する人を『低栄養』のリスク該当者と判定しました。

問番号	設問	該当する選択肢
問3.1	身長・体重を教えてください。	BMI 18.5 未満
問3.7	6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。	1. はい

#### 【全体】

○ 低栄養リスクについて、「該当」が2.2%、「非該当」が97.8%となっています。

#### 【低栄養リスク】



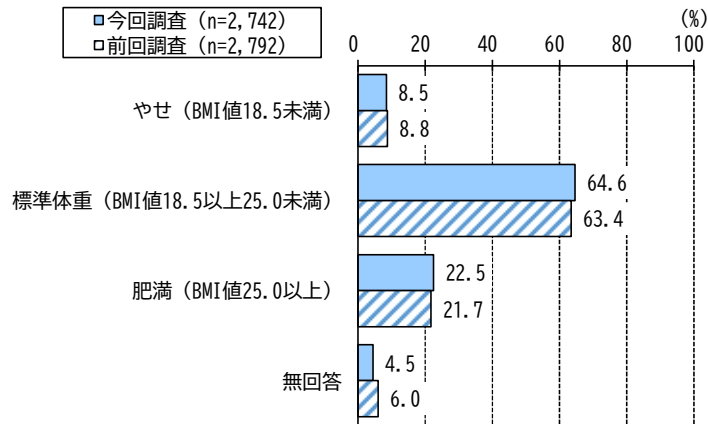
単位：%

		母数	低栄養リスク	
			該当	非該当
全体	今回調査	2,742	2.2	97.8
	前回調査	2,792	2.4	97.6
性・年齢	男性 前期高齢者	504	0.8	99.2
	後期高齢者	572	3.0	97.0
	女性 前期高齢者	378	2.4	97.6
	後期高齢者	1,288	2.3	97.7
認定該当状況	一般高齢者	1,671	1.7	98.3
	総合事業対象者	8	-	100.0
	要支援1・2	1,063	3.0	97.0
介護・介助の必要性	介護・介助は必要ない	1,852	1.9	98.1
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	339	3.5	96.5
	現在、何らかの介護を受けている	439	2.3	97.7

問3.1 身長・体重を教えてください。(1つだけ○)

**【全体】**  
 ○ BMIについて、「標準体重 (BMI値18.5以上25.0未満)」が64.6%で最も多く、次いで「肥満 (BMI値25.0以上)」が22.5%、「やせ (BMI値18.5未満)」が8.5%となっています。

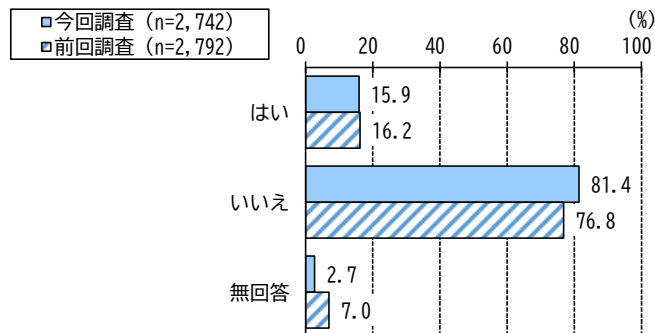
**【BMI】**



問3.7 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。(1つだけ○)

**【全体】**  
 ○ 体重減少の有無について、「はい」が15.9%、「いいえ」が81.4%となっています。

**【体重減少の有無】**



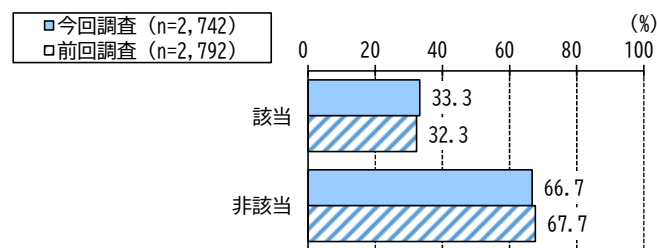
## 口腔機能の低下リスク

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、3項目のうち2項目以上に該当する人を『口腔機能の低下』のリスク該当者と判定しました。

問番号	設問	該当する選択肢
問3.2	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。	1. はい
問3.3	お茶や汁物等でむせることがありますか。	1. はい
問3.4	口の渇きが気になりますか。	1. はい

<p><b>【全体】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 口腔機能の低下リスクについて、「該当」が33.3%、「非該当」が66.7%となっています。</li> </ul> <p><b>【性・年齢】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。</li> </ul> <p><b>【認定該当状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「該当」は要支援1・2が43.7%と多くなっています。</li> </ul> <p><b>【介護・介助の必要性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「非該当」は介護・介助は必要ないが72.5%と他の区分に比べて多くなっています。</li> </ul>
---

【口腔機能の低下リスク】



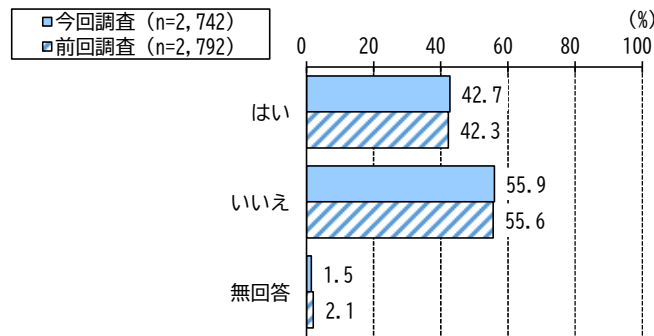
		母数	口腔機能の低下リスク	
			該当	非該当
全体	今回調査	2,742	33.3	66.7
	前回調査	2,792	32.3	67.7
性・年齢	男性 前期高齢者	504	▼ 23.2	△ 76.8
	後期高齢者	572	40.2	59.8
	女性 前期高齢者	378	26.5	73.5
	後期高齢者	1,288	36.2	63.8
認定該当状況	一般高齢者	1,671	26.6	73.4
	総合事業対象者	8	37.5	62.5
	要支援1・2	1,063	△ 43.7	▼ 56.3
介護・介助の必要性	介護・介助は必要ない	1,852	27.5	72.5
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	339	△ 49.0	▼ 51.0
	現在、何らかの介護を受けている	439	△ 47.8	▼ 52.2

単位：%

問3.2 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか。(1つだけ○)

【全体】  
○ 咀嚼機能の低下について、「はい」が42.7%、「いいえ」が55.9%となっています。

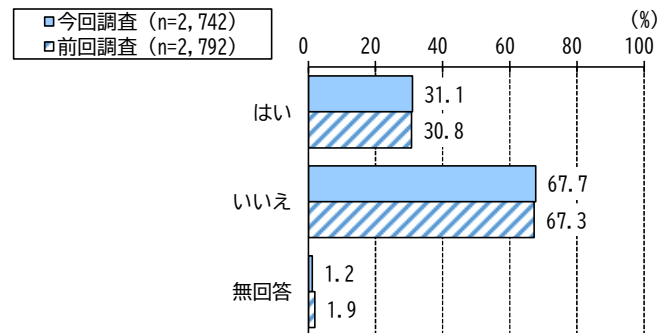
【咀嚼機能の低下】



問3.3 お茶や汁物等でむせることがありますか。(1つだけ○)

【全体】  
○ 嚥下時のむせについて、「はい」が31.1%、「いいえ」が67.7%となっています。

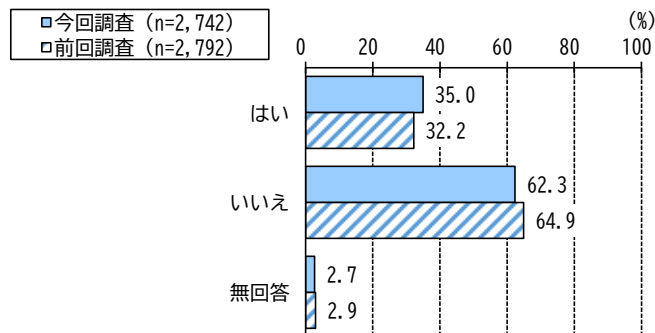
【嚥下時のむせ】



問3.4 口の渇きが気になりますか。(1つだけ○)

【全体】  
○ 口腔の渇きについて、「はい」が35.0%、「いいえ」が62.3%となっています。

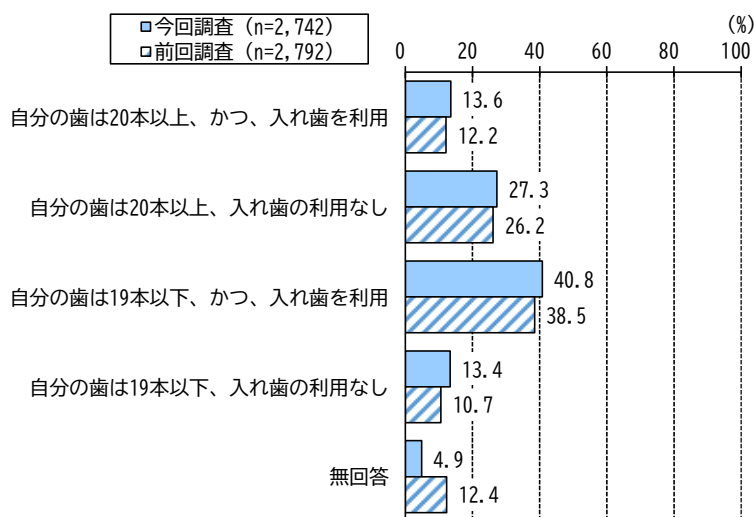
【口腔の渇き】



問3.5 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。(1つだけ○)

- 【全体】**
- 歯数・義歯の状況について、「自分の歯は19本以下、かつ、入れ歯を利用」が40.8%で最も多く、次いで「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が27.3%、「自分の歯は20本以上、かつ、入れ歯を利用」が13.6%となっています。
  - 「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」「自分の歯は20本以上、かつ、入れ歯を利用」をあわせた“自分の歯が20本以上ある人”は40.9%となっており、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」「自分の歯は19本以下、かつ、入れ歯を利用」をあわせた“自分の歯が19本以下の人”は54.2%となっています。
- 【性・年齢】**
- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が多くなっています。
  - 「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」は男性 前期高齢者が20.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【認定該当状況】**
- 「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」は一般高齢者が33.3%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【介護・介助の必要性】**
- 介護・介助が必要な人ほど「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」が少なくなる傾向がみられます。

【歯数・義歯の状況】



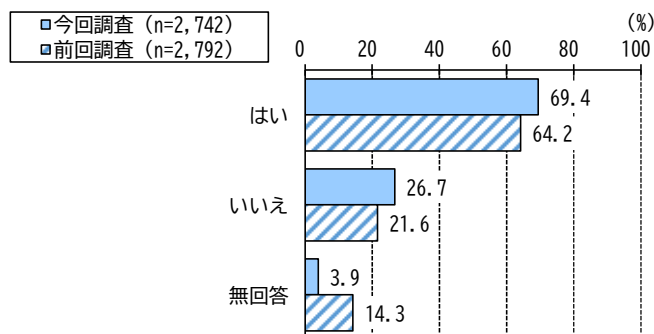
単位：%

		歯数・義歯の状況					
		母数	かつ、自分の歯は20以上、入れ歯を利用	入れ歯の歯は20以上、利用なし	かつ、自分の歯は19以下、入れ歯を利用	入れ歯の歯は19以下、利用なし	無回答
全体	今回調査	2,742	13.6	27.3	40.8	13.4	4.9
	前回調査	2,792	12.2	26.2	38.5	10.7	12.4
性・年齢	男性 前期高齢者	504	13.1	△ 42.3	▼ 23.0	20.0	1.6
	後期高齢者	572	15.6	19.1	47.9	13.1	4.4
	女性 前期高齢者	378	14.8	△ 42.6	▼ 28.8	11.4	2.4
	後期高齢者	1,288	12.5	20.7	48.1	11.6	7.1
認定該当状況	一般高齢者	1,671	15.3	33.3	34.3	13.8	3.4
	総合事業対象者	8	-	25.0	△ 75.0	-	-
	要支援1・2	1,063	11.0	18.0	△ 50.8	12.9	7.3
介護・介助の必要性	介護・介助は必要ない	1,852	14.5	31.5	37.3	13.5	3.2
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	339	11.5	19.5	49.6	12.7	6.8
	現在、何らかの介護を受けている	439	11.8	18.5	49.7	13.9	6.2

問3.6 噛み合わせはいいですか。(1つだけ○)

- 【全体】
- 噛み合わせの状況について、「はい」が69.4%、「いいえ」が26.7%となっています。
  - 前回調査から、「はい」は5.2ポイント、「いいえ」は5.1ポイント増加しています。
- 【性・年齢】
- 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「いいえ」が多くなっています。
- 【認定該当状況】
- 「はい」は要支援1・2が64.8%と少なくなっています。
- 【介護・介助の必要性】
- 「はい」は介護・介助は必要ないが73.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【噛み合わせの状況】



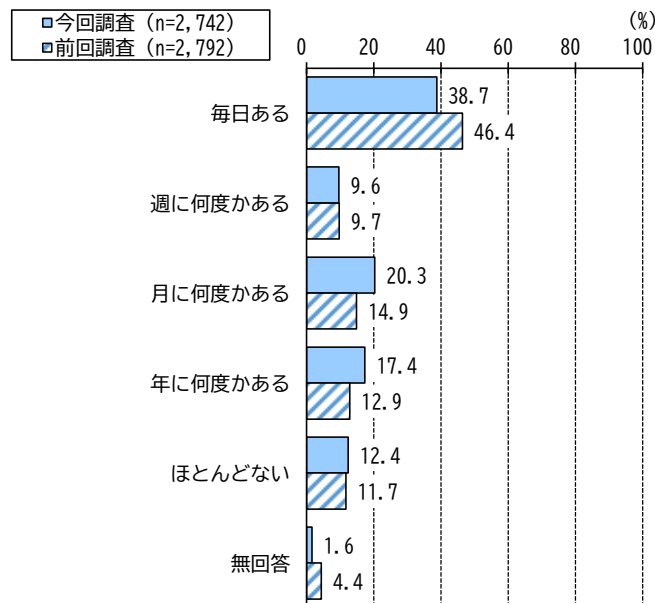
単位：%

		母数	噛み合わせの状況		
			はい	いいえ	無回答
全体	今回調査	2,742	69.4	26.7	3.9
	前回調査	2,792	64.2	21.6	14.3
性・年齢	男性 前期高齢者	504	70.0	28.8	1.2
	後期高齢者	572	65.7	29.9	4.4
	女性 前期高齢者	378	73.3	25.1	1.6
	後期高齢者	1,288	69.7	24.8	5.4
認定該当状況	一般高齢者	1,671	72.4	24.8	2.8
	総合事業対象者	8	75.0	25.0	-
	要支援1・2	1,063	64.8	29.5	5.6
介護・介助の必要性	介護・介助は必要ない	1,852	73.2	24.2	2.6
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	339	59.9	35.7	4.4
	現在、何らかの介護を受けている	439	63.8	30.3	5.9

問3.8 誰かと食事をとる機会がありますか。(1つだけ○)

- 【全体】
- 共食の機会について、「毎日ある」が38.7%で最も多く、次いで「月に何度かある」が20.3%、「年に何度かある」が17.4%となっています。
  - 前回調査から、「毎日ある」は7.7ポイント減少し、「月に何度かある」は5.4ポイント増加しています。
- 【性・年齢】
- 男女ともに前期高齢者では後期高齢者に比べて「毎日ある」が多くなっています。
  - 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「ほとんどない」が多くなっています。
- 【日常生活圏域】
- 「毎日ある」は西が31.5%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 【世帯類型】
- 「ほとんどない」は1人暮らしが19.6%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【介護・介助の必要性】
- 「毎日ある」は何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていないが33.3%と他の区分に比べて少なくなっています。

【共食の機会】



単位：%

		母数	共食の機会					
			毎日ある	週に何度かある	月に何度かある	年に何度かある	ほとんどない	無回答
全体	今回調査	2,742	38.7	9.6	20.3	17.4	12.4	1.6
	前回調査	2,792	46.4	9.7	14.9	12.9	11.7	4.4
性・年齢	男性 前期高齢者	504	△ 50.6	9.5	11.1	13.3	14.9	0.6
	後期高齢者	572	38.8	5.1	17.1	19.2	17.5	2.3
	女性 前期高齢者	378	44.4	12.4	21.2	12.7	8.7	0.5
	後期高齢者	1,288	32.3	10.7	25.0	19.6	10.3	2.0
日常生活圏域	鳥居本	86	38.4	5.8	15.1	15.1	18.6	7.0
	西	289	31.5	7.3	23.5	22.8	14.2	0.7
	東	669	42.5	9.1	21.4	14.3	11.4	1.3
	中央	438	35.2	11.0	21.7	16.0	14.4	1.8
	彦根	316	40.8	9.8	18.0	18.0	11.4	1.9
	南	582	38.0	10.7	21.0	17.4	11.7	1.4
	稲枝	362	41.2	9.4	16.0	20.7	11.3	1.4
世帯類型	1人暮らし	957	▼ 4.0	13.8	△ 34.3	26.6	19.6	1.7
	夫婦2人暮らし (配偶者65歳以上)	611	△ 56.3	4.4	14.7	14.4	8.5	1.6
	夫婦2人暮らし (配偶者64歳以下)	166	△ 66.3	7.2	▼ 9.6	10.2	6.0	0.6
	子どもとの2世帯	573	△ 56.9	8.4	12.6	11.7	8.9	1.6
	その他	399	△ 58.1	10.3	10.5	11.5	8.5	1.0
介護・介助の必要性	介護・介助は必要ない	1,852	39.5	9.8	21.5	17.7	10.7	0.8
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	339	33.3	9.4	15.9	21.2	18.0	2.1
	現在、何らかの介護を受けている	439	40.8	9.1	18.2	15.0	14.6	2.3

#### (4) 毎日の生活について

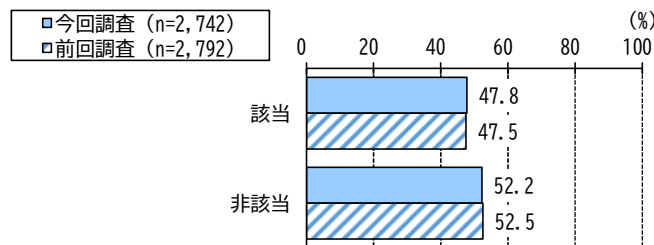
##### 認知機能の低下リスク

国の手引きに基づいて、調査票の以下の設問を抽出し、該当する人を『認知機能の低下』のリスク該当者と判定しました。

問番号	設問	該当する選択肢
問4.1	物忘れが多いと感じますか。	1. はい

<p><b>【全体】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 認知機能の低下リスクについて、「該当」が47.8%、「非該当」が52.2%となっています。</li> </ul> <p><b>【性・年齢】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 男女ともに後期高齢者では前期高齢者に比べて「該当」が多くなっています。</li> </ul> <p><b>【認定該当状況】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「非該当」は一般高齢者が57.2%と他の区分に比べて多くなっています。</li> </ul> <p><b>【介護・介助の必要性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「該当」は何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていないが63.4%と他の区分に比べて多くなっています。</li> </ul>
--

【認知機能の低下リスク】



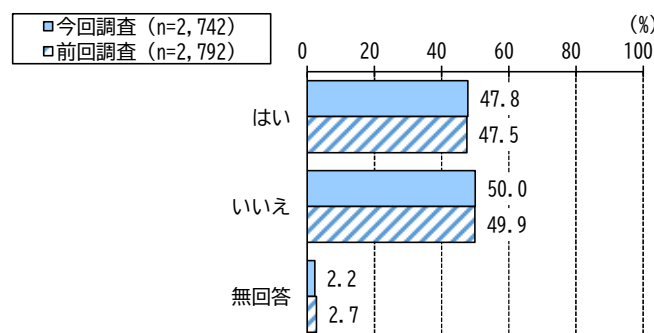
		母数	認知機能の低下リスク	
			該当	非該当
全体	今回調査	2,742	47.8	52.2
	前回調査	2,792	47.5	52.5
性・年齢	男性 前期高齢者	504	38.7	61.3
	後期高齢者	572	51.4	48.6
	女性 前期高齢者	378	▼ 37.0	△ 63.0
	後期高齢者	1,288	53.0	47.0
認定該当状況	一般高齢者	1,671	42.8	57.2
	総合事業対象者	8	△ 62.5	▼ 37.5
	要支援1・2	1,063	55.6	44.4
介護・介助の必要性	介護・介助は必要ない	1,852	43.0	57.0
	何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない	339	△ 63.4	▼ 36.6
	現在、何らかの介護を受けている	439	56.3	43.7

単位：%

#### 問4.1 物忘れが多いと感じますか。(1つだけ○)

<p><b>【全体】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 物忘れの自覚について、「はい」が47.8%、「いいえ」が50.0%となっています。</li> </ul>
--

【物忘れの自覚】



問4.2 自分で電話番号を調べて、電話をかけていますか。(1つだけ○)